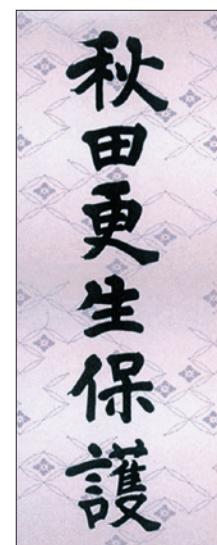




大日堂舞楽「国指定重要無形文化財」

鹿角市八幡平小豆沢地区の大日靈貴神社（おおひるめむちじんじゃ：通称大日堂）で、毎年1月2日に奉納される舞楽です。

写真提供：秋田地区保護司 藤原 真廣



第83号
発行所
秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援護協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小熊良悦
(印刷)
株式会社アクティス

令和8年1月1日現在
保護司数 666名



一年の計は元旦にあり

秋田県保護司会連合会会長 金山智紀

新年あけましておめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」という諺は、年の初めに目標を立て、心新たに歩み出す大切さを教えてくれます。皆様も新年にあたり、それぞれの誓いを胸に刻まれたことだと思います。

さて、今年は60年に一度の丙午（ひのえうま）の年です。烈火のような勢いを象徴し、強い意志と行動力で新しい局面を切り拓く年とされてきました。この丙午の力強さが、更生保護の現場でも必要であると思います。

令和8年には改正保護司法が施行され、保護司制度は新たな時代を迎えます。社会内処遇の充実を図り、更生保護の理念を広く根付かせる大きな一歩となるでしょう。

保護司は地域に根ざし、人と人とのつながりを紡ぐ存在です。再犯防止の観点からも活動は社会の安心を支える基盤であり、定数の維持と人材確保は重要な課題です。秋田県では少子高齢化が進み、多くの保護司が定年を迎えるため、担い手不足が

懸念されます。幅広い職域や世代から新しい仲間を迎えて、活動しやすい環境を整えることが急務です。

保護司は生きづらさを抱える人々に寄り添い、孤立を防ぐ「防波堤」としての役割を果たしています。その存在があるからこそ、地域の安定が守られるのです。県保連としても12地区保護司会と連携し、この課題に真摯に取り組んでまいります。

改正保護司法を契機に、更生保護の新しい時代を切り拓き、地域の理解と協力を得ながら活動の質を高めていくことが使命です。容易な道ではありませんが、県民の皆様、関係機関、そして仲間の力をいただければ、必ず新たな地平を開けると信じています。

結びに、更生保護の使命を胸に心新たに歩みを進めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、「ご健勝」とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



* * 謹 賀 新 年 *

更生保護法人秋田県更生保護援護協会
理事長 加賀谷 文秋
更生保護法人秋田至仁会
理事長 鈴木 寿
秋田県更生保護女性連盟
会長 齊藤 正子
秋田保護観察所
所長 富田 潤一

秋田県保護司会連合会
会長 金山智紀
NPO法人秋田県就労支援事業者機構
会長 伊藤萬治郎
秋田県BBS連盟
会長 菅原 大

当会に対しましてご寄付、普通会員会費、
賛助会員会費をいただきました皆様に、
この場をお借りしまして深く感謝申
し上げます。

一金 二十万円
エール株式会社
代表取締役社長 真鍋 悟 様

篤志者寄附金の御芳名



12月2日秋田市河辺「ユーフォーレ」において、秋田保護観察所長、企画調整課長御出席のもと、各地区会長、事務局長等33名参加し、令和7年度地区保護司会長等連絡協議会を開催しました。各地区からは令和7年度の事業（社明、ブロック別更生保護研究会、SST研修会等）報告があり、また県保連事務局及び秋田保護観察所からは連絡事項等報告がありました。

10月8日、更生保護施設秋田至仁会において役職員研修を開催しました。小玉施設長からの施設の現況報告後、施設内の見学を行いました。

研修会の開催

和田 仁（辞任）
(令和7年12月12日)
真鍋 悟（就任）
(令和7年10月31日)

秋田県保護司会連合会

更生保護関係団体の動き

・理事の異動

★ブロック別更生保護活動研究会

本研究会は、県内3ブロックに分かれ、保護司を取り巻く諸課題について意見交換し、方策等を共有することを目的として、隔年で開催しています。本年は「効果的な犯罪予防、広報活動」をテーマとして、3日間で約230名の保護司が参加し、各ブロックにおいて活発な意見交換がされました。



10/2 県南ブロック
(横手地区)



10/20 県央ブロック
(潟上湖東地区)



10/9 県北ブロック
(鹿角地区)

★令和7年度 SST研修

日本更生保護協会が主催している標記研修が、県内4か所において行われました。各研修とも、講師による丁寧なアドバイスのもと、グループ討議、演習が行われ、出席者からは「共感と受容について勉強できた」「相手を褒めることの大切さを実感できた」など、の感想が聞かれました。



11/9 秋田地区保護司会
臨港支部



10/26 大曲地区保護司会



9/7 湯沢地区保護司会
東支部



9/28 秋田地区保護司会
東支部

★弘前地区保護司会との交流会

令和7年11月25日（火）に弘前地区更生保護サポートセンターにおいて、秋田地区保護司18名、弘前地区保護司7名が参加して交流会を行いました。

これは、全国保護司連盟「保護司組織間交流助成事業」を活用したもので、

他の都道府県の地区保護司会との情報交換・意見交換などの機会を持つことにより、保護司会活動の活性化を図ることが目的とされています。



交流会では、双方の活動についての紹介や更生保護サポートセンターの利用状況、今後の保護司会としての活動方策・協力体制など活発な意見交換と質疑応答が行われました。

この度の交流会は、他地区の「社会を明るくする運動」をはじめとする保護司活動の取り組みを知ることで、保護司同士が経験を共有し、連携を深めることができます。

サテライト型サポートセンターは、毎週月、水、金曜日の午前10時から午後3時まで開所し、これまで中心的な役割を担ってきた市役所宮前町庁舎のサポートセンターと併せて、より広範な北秋田地域の更生保護活動を網羅する、二重の体制が確立されます。

この新しい拠点の誕生は、北秋田市が更生保護活動の先進的なモデルを構築し、全ての市民が安心して暮らせる社会の実現に向けた、大きな一步となるものと考えます。

★北秋田地区「サテライト型更生保護サポートセンター」の開所

東北初となる「サテライト型更生保護サポートセンター」が、北秋田市役所森吉庁舎に設置され、9月1日に開所式が行われました。



★保護司セミナー

10月14日、由利本荘市西目公民館

「シーガル」において、令和7年度保護司セミナーを開催しました。当日は、商工会青年部、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、少年保護育成委員会等の方々にご出席いただき、ユーチューブによる保護司活動の紹介や保護司の体験談、サポートセンターの見学等を行いました。

秋田至仁会

黒松の大樹に感謝

秋田至仁会の敷地内には、創設者の川村養助氏が植えたと思われる黒松の大樹が2本ありました。

ところが、そのうち正門の近くにあつた一本が松くい虫が原因と思われる被害により令和6年から急に枯れ始め、年が明けて7年の春頃になり完全に枯れてしましました。

そのため、この状態のまま放置した場合、強風で枝が落下して人的被害に及ぶ危険性がありましたので、昨年9月1日から数日かけて伐採しました。

折しも9月1日は、秋田至仁会の創設125年の節目の日でした。黒松の大樹は秋田至仁会から旅立った数多くの人たちを見送り、彼らの自立更生を願つたことでしう。

そして、これまで長きにわたり秋田至仁会を見守つてくれた黒松の大樹に、創設者の川村養助氏も感謝しているに違いないと思ふがべています。



秋田県就労支援事業者機構

山形県就労支援事業者機構との交流会

日頃から、秋田県就労支援事業者機構の活動に御理解と御協力をいただき、お礼を申し上げます。

10月27日に、山形県就労支援事業者機構の会員15名が秋田刑務所を視察研修した後に、秋田保護観察所を訪れ、当機構と情報交換会を開催しました。

富田秋田保護観察所長から歓迎の挨拶、五十嵐統括保護観察官から、山形県側から要請があつた就労支援員の配置事業について説明などがあり、他県の情報を得るという有意義な機会を得ました。

当機構では、今回の交流会を機会に、東北地方の就労支援事業者機構との交流が今後ますます増えることを願い、組織化に向けた活動を積極的に進めていく予定であります。

これからも当機構の事業運営に格別のご尽力をお願いいたします。



秋田県更生保護女性連盟

東北地方更生保護女性会員研修会

9月24～25日、ホテルメトロポリタン秋田にて日本更生保護女性連盟千葉景子理事長、東北地方更生保護女性連盟川野秀子会長、東北地方更生保護委員会辻裕子委員長をお迎えし、東北各県から会員130名が参集し開催されました（秋田県47名参加）。

1日目、「地域との連携・協働活動推進地区」活動状況を大館地区更生保護女性会「子育て支援モデル地区」活動状況を鹿角地区更生保護女性会が報告しました。

研修討議は「誰一人取り残さない地域社会を作る更生保護女性会活動を進めること」をテーマに各県の取り組み方、問題、解決策等熱心に協議しました。

2日目、「地域を編む それぞれの色彩で、風合いで」と題する千葉景子理事長による講演でした。温かく、優しく、力強く、更女は自由です、地域のため自分のために更女らしく楽しく活動しましょ

うという励ましの言葉に元気を頂きました。（来年は宮城県日帰り開催予定）



秋田県BBS連盟

★秋田県BBS連盟総会

8月23日、にぎわい交流館AUで開催し、今年度の事業計画、予算等について協議しました。役員改選にて内山副会長と大沢事務局長が新たに選出されました。

★第66回BBS会員中央研修会

9月27日～28日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた第66回BBS会員中央研修会に金野会員、須賀会員が出席しました。「生きづらさを実践的に理解する」をテーマとし、研究協議が行われました。

★秋田県更生保護女性連盟設立60周年記念祝賀会

11月6日、ホテルメトロポリタン秋田で開催され、内山副会長が出席しました。

★第58回秋田県更生保護大会

11月21日、あきた芸術劇場ミルハスで開催され、内山副会長が出席しました。

★天使園学習ボランティア

秋田地区会（ノースアジア大学生）が中心となり、秋田市保戸野にある児童養護施設・聖園天使園で、年齢・性別で分かれているルームごとに子どもたちの学習支援ボランティアを行いました。

★ともだち活動

少年1名に対して、学習支援を中心とした「ともだち活動」を行いました。

新たな年が、災害のない穏やかな年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

ターアルヴェン
拠点セント

秋田保護観察所

地域援助協議会のお知らせ

保護観察所では、息の長い支援を実践すべく更生保護関係団体の皆様と連携し、刑務所等を出した人や保護観察を受けていた人などが、地域社会で生きづらさを抱え支援を必要としているときに、必要な支援を円滑かつ継続的に受けられるよう、多様な分野の機関・団体の皆様とのネットワーク構築に取り組んでおります。

その一環として、昨年度は保護司会等と協力し、地域援助駐在として、関係機関等の担当者との顔合わせをいたしましたが、今年度は更に一步進め、より具体的で実践的なネットワークを構築するためのステップとして地域援助協議会を開催する運びとなりました。

本協議会の趣旨は、互いに顔の見える関係づくりを目指すとともに、更生保護について理解を深めていただき、地域援助を円滑かつ効率的に実施することを目的としています。協議会には関係機関として、警察署生活安全課、各市町村の社会福祉課、福祉保健課、住民生活課、保護係、社会福祉協議会、保護司会、更生保護女性会、協力雇用主の代表者等に御参集いただき、各保護区に点在するサポートセンターで開催しております。協議では、地域援助に対する御支援、御協力を求めるだけではなく、各市町村が策定する再犯防止推進計画の策定状況に関する情報交換のほか、①犯罪・非行に関する研修や講演会における企画の支援や職員派遣、②刑務所を出した人の支援事例検討会への参加、③犯罪の支援事例検討会への参加、④関係機関・団体の皆様が支援している方への助言などを行なうことができる旨をお知らせしております。

予防や再犯防止に関する広報及び報発信等の広報支援、④関係機関・団体の皆様が支援している方への助言や提案等といった個別ケーブルへの対応も行なうことができる旨をお知らせしております。

当協議会は、秋田保護観察所管内の全保護区で開催する予定ですので、関係機関・団体の皆様の御理解、御協力をよろしくお願ひいたします。



関係団体が出席し
地域援助協議会を開催

改正保護司法成立のお知らせ

令和7年12月3日、「更生保護制度の充実を図るための保護司法等の一部を改正する法律」が成立し、同月10日公布されました。本法律は、保護司の適任者確保や安全確保が課題とされている中、「持続可能な保護司法制度の確立に向けた検討会」報告書の内容等を踏まえ改正されたもので、保護司の任期を3年に延長することや地方公共団体による保護司会等への協力規定を努力義務規定とするなど、保護司の安全確保に関する国の責務規定の新設等を内容としています。なお、本法律は一部の規定を除き、公布の日から起算して1年を超えない範囲内に於ます。

祝賀会では、太田宥子前会長、前役員の方々を囲んで懐かしい思い出話に花が咲き大いに盛り上がり、設立60周年の節目にふさわしい会となりました。開催にあたり更女会の活動をご理解いただきご支援、ご協力を賜りました皆様に心から感謝申上げます。

一筆啓上

「秋田県更生保護女性連盟設立60周年記念式典」に寄せて
秋田県更生保護女性連盟

会長 齊藤 正子



更生保護大会特集

令和7年11月21日(金)
あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

令和7年11月21日(金)あきた芸術劇場ミルハス中ホールにおいて、東北地方更生保護委員会委員長ほか多数のご来賓のご臨席のもと、秋田県内の更生保護関係者約800名の参加を得て、第58回秋田県更生保護大会が厳粛かつ盛大に開催されました。

はじめに、第75回“社会を明るくする運動”作文コンテスト秋田県推進委員会優秀賞に選ばれた作品の朗読と入賞者の表彰を行いました。今年度は小学生から147作品、中学生から545作品の応募があり、また、新たに秋田県就労支援事業者機構会長賞が設けられました。応募いただきました児童・生徒の皆さんに心から感謝申し上げます。

次に、一般社団法人市民活動あきた代表理事門脇光浩氏による「新説・秋田の昔話」と題するご講演がありました。秋田の各地にまつわる昔話のユーモアたっぷりなお話に会場は温かな笑いに包まれました。

その後、顕彰式典が開会され、默とう、国歌斉唱を行い、主催者を代表して金山智紀秋田県保護司会連合会会长からの式辞、富田潤一秋田保護観察所長か

ら挨拶がありました。

続いて、秋田県内の更生保護事業に功労のあった方々に対する顕彰があり、“社会を明るくする運動”民間協力者として秋田県立金足農業高等学校に法務大臣感謝状が贈呈されました。また、保護司を雇用している事業主として、(特非)にこっと秋田 多機能型ケアベースにのにが代表して表彰されました。

顕彰後、受彰者を代表して北秋田地区保護司会長岐直介保護司から謝辞があり、ご来賓を代表して辻裕子東北地方更生保護委員会委員長、鈴木健太秋田県知事(代読安枝一秋田県健康福祉部次長)、石原香代秋田地方検察庁検事正から祝辞がありました。

終わりに、内山直光秋田県BBS連盟副会長から大会宣言文案の読み上げがあり、拍手を持って採択されました。

開催に当たっては、秋田地区保護司会、秋田地区更生保護女性会の皆様からご協力をいただきましたことを心からお礼申し上げます。

文責:佐々木文子



富田所長挨拶

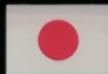


金山会長式辞



岩崎県更女連盟副会長の
開会の言葉

第58回 秋田県更生保護大会



講師の門脇様ご講演



開会前の会場内





第58回 秋田県



ホゴ・サラちゃんもお出迎え



法務大臣表彰の皆様



東北地方更生保護女性連盟会長表彰の伝達



県更生保護援護協会理事長感謝状の伝達



表彰状の伝達



内山県BBS連盟副会長の大会宣言



長岐直介保護司からの謝辞



加賀谷県更生保護援護協会理事長の閉会の言葉

お知らせ
第59回秋田県更生保護大会

令和8年11月13日(金)
あきた芸術劇場ミルハスで
開催予定です。

11.26 第32回東北地方更生保護大会
(青森市・リンクステーションホール青森)9.24 保護司等中央研修会
(東京・日経ホール)

東北地方更生保護大会、保護司等中央研修会



叙位

越姓玄悦
(大館保護区)



褒章

山谷尚円
(大曲保護区)



叙勲

瑞宝双光章
(更生保護功勞)

秋の叙勲・褒章
(令和7年11月3日)
令和7年秋の叙勲及び褒
章を受けられました管内の
更生保護関係者の方々は、
次とおりです。
永年の御功勞・御功績に
よりめでたく受章されました
皆様に心からお祝いを申
し上げますとともに、なお
一層の御健勝と御活躍を祈
念申し上げます。
(敬称略)



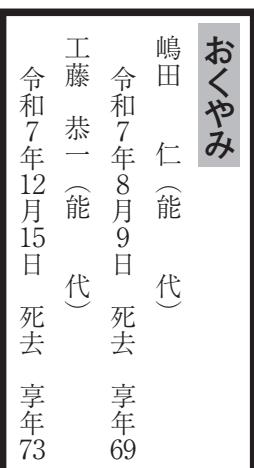
保護司の異動

任期満了(令和7年11月30日付)
新鈴高山相照佐七高石大小小金下本長照山金二新佐白宇佐高
股松山木橋谷馬井藤山岡川沼野松澤原間岐内内田田野藤川美藤屋
和喜智尚義晋純咲由敏賢義大常宣直喜勝ア建公節京洋
幸円(令和7年9月30日付)子一子円雄進郎子子雄三嗣輔雄道介雄進年子臣子平子
則雄(令和7年9月30日付)角天大天大湯湯横横横本鹿鹿北北天能鴻鴻鴻秋
田(臨港)上上上湖湖湖湖湖
館曲曲曲曲曲沢沢手手手莊角角田田田代東東東東
令和7年12月31日付

た。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。

新任(令和7年12月1日付)
次の方が新たに委嘱されました。

★退任保護司感謝状伝達式及び座談会開催(11月28日)



おくやみ

嶋田仁(能代)
令和7年8月9日死去享年69
令和7年12月15日死去享年73

熊小高藤高茂高阿高五木笛高成三畠長谷
田(十)京鎌菅浜夏藤星辰柴保
谷原橋原橋木橋部橋嵐村本田田澤山川極田原田井井
一鈴三仁聰重鈴恒浩真克美忠孝幸天幸美紀容
ゆみ子春永司子志子和子憲平司彦子博秀誠村嗣子幸子翼子顕
大天大天大湯湯本本本鹿鹿北北鴻鴻鴻秋
秋秋秋上上上湖湖湖湖
曲曲曲曲曲沢沢庄莊角角田田田代東東東東

今後の御活躍を期待します。(敬称略)

編集後記

去年は、猛暑、米騒動、そしてまたしても熊。食害だけならまだしも、お亡くなりになられた方もでてしましました。自動ドアは手動になり、お出かけは車でドアツードア。常に熊の出没を想定しながらの生活。どこかコロナ禍に似た毎日です。改めて、特別なことのない平凡な生活はいいものなんだなと感じています。「熊達よ、どうか絶滅危惧種となる前に、山に帰ってください。」と願うばかりです。

明石浩延

編集委員

加賀谷文秋(編集委員長)
佐々木文子
伊藤妙子
五十嵐正樹
長谷部次子
菊地皆美
高橋毅

